

「柏市民活動フェスタ2012」報告

2012年5月14日 透きとおるような快晴でした。まさに「五月晴れ」でした。人の出足も早いと感じました。10時、フェスタは、秋谷柏市長のあいさつでスタートしました。ファミリアかしわ前広場でオープンニングを飾ったのは、柏市ボ連協所属の「レインボ飛鳥カントリーダンスクラブ」でした。1996年創立にふさわしく、伝統を感じさせるダンスを披露しました。柏駅東口駅前通りでは、多くの団体が「出店」していました。バンドの演奏あり、絵の製作ありで、まさに市民活動の見本市でした。多くの市民の方が「店」の前で足を止めていました。

「東葛柏福祉会」は東日本大震災で被災された地域復興のため、いろんな商品を販売していました。「復興と名をうっているためか、みなさんが足を止めてくれます。」(会員の声) 少し離れて「スペース若柴を支援する会」が「出店」していました。「障害者が作ったマドレーヌです。今日は天気が良いので、良かったです。」(会員の声) マドレーヌは午後には売り切れていました。ダブルデッキにも、多くの出店がありました。「ウォーキングサポート柏」を訪ねました。「今日は天気だけでなく、出店場所も良かった。ウォーキングに参加する人は健康志向が強い。団体だといろんな所へ行ける。団体でも個人の自由コースもあります。」(会員の声)「手話サークルかしわの会」には途切れることなく市民の方が訪れていました。女子高校生が熱心に話を聞いていました。「筆談とかコミュニケーションに興味を持って頂くことが大切です。」(会員の声) アミュゼ柏に「対話と傾聴の会かしわ」を訪ねました。「駅周辺に比べて、アミュゼ柏は少し遠いですが、去年来られた方が今年も来られて、うれしかったです。」(会員の声) 「柏市ボ連協」の店は、お茶の無料サービスを「全面」に出し、チラシをわたしました。机には「柏おもちゃ病院」「育成園グループこすもす」「スペース若柴を支援する会」のチラシを置きました。

一般参加人数、約12,000名(昨年7,000名)